

池田民報

九月定例町議会△云報生口

9月定例会は9月10日から21日まで開催されました。主な案件は21年度一般会計及び特別会計決算の認定8件、長野県地方税滞納整理機構設立議案、22年度一般会計補正予算案及び町消防団員などの公務災害補償条例の改正案など議案8件、陳情3件でした。党議員団の対応と陳情の採択結果をお知らせします。

21年度決算の認定 ▼良かった点と 課題となる点を 述べて賛成

- 良かった点
 - ① 町の企業経営安定のため、県・町制度資金が45件利用され、利子補給を行ったこと。引き続き、きめ細かい補助が必要である。
 - ② 太陽光発電システム設備補助が21世帯に利用されたこと。今後、公共施設にも設置を望む。
 - ③ 課題であった鶴山ブドウ団地に、「サッポロ安曇野池田ヴィンテージ」が始動したこと。町の産業と雇用の場となることを望む。
 - ④ 池田町在住の安曇養護学校生徒10人の放課後と長期休暇の預かり施策は関係者から喜ばれていること。
 - ⑤ 子育てに関する相談（育児・健康相談など）が2943件あり、対応がなされたこと。
- 課題となる点
 - ① 国の緊急経済対策では、町公用車購入、小中学校のデジタルテレビの購入、広津及び陸郷の光ファイバーケーブル敷設などに使われたが、国のひも付き補助金とはいえ、公共施設の耐震工事や土砂災害防止工事などの緊急施策にも使用すべきであった。
 - ② 耐震診断28件、避難所診断1件、耐震補強工事8件と少なかつたこと。更に、耐震工事補助の充実と公共施設の補強工事を進めるべき。
 - ③ 保育園職員54人中、臨時職員が40人を占めている。計画的に正規職員に切り替えるべきである。

- ④ 児童館の保護者と行政との意思疎通を図るため「保護者会」が必要である。会染児童館に正規職員の配置を求める。
- ⑤ 介護者の会の充実が望まれる。
- ⑥ 子宮頸がん検診が18%と低い。検診率を高め、ワクチン接種の公的助成の増額が必要である。
- ⑦ 松くい虫防除対策を実施したが、近隣市町村に呼びかけて連携した取り組みが必要である。
- ⑧ 就学援助受給者が前年の1.3倍の73人と増加した。今後、保護者の負担を減らす方向で、学校徴収金の精査が必要である。

長野県地方税滞納整理機構の設立議案
▼住民を苦境に追い込むので反対

経済不況により地方税の滞納が増えている。今回の提案では、県と市町村でつくる広域連合「県地方税滞納整理機構」が、高額滞納者に対して徴収行為を行うものである。



「町政要求アンケート」にご協力をありがとうございました。今後も回収いたしますのでご協力お願いします。

初めは、県全体で1000件の目標で、各自自治体から高額滞納者を抽出し、池田町では6件抽出する計画である。全国で19団体で実施されていますが、差し押さえ、インターネットでの公売による換金など、きつい取立てで、自殺に追い込まれたり、日用品まで差し押さえられ、生活に支障をきたす例までも出ている。払える状況にない人を苦境に追いやるので、機構設立に反対した。

【陳情】
（ ）内は共産党の対応
採択
○私立高校に大幅な費用をお願ひする陳情（賛成）
▽陳情者：中信地区私学助成推進協議会
○安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方機関の存続を求める陳情（賛成）
陳情者：国土交通管理職ユニオン関東支部
趣旨：大規模災害に対応するには国の出先機関が必要である。安易な地方委譲は行わないこと。
不採択
○長野県地方税共同化に関し、県に意見書を提出することを求める陳情（賛成）
陳情者：長野県税金オンプズマン
経過：上記の理由で、共産党は賛成したが、多数決で不採択。

一般質問



山本久子議員

町では今後10年間を見据えた「土地利用計画」策定を進めています。田園風景を残し、新たな開発を抑え、農地を守っていくための施策を提案しました。ゴミ減量化、福祉施策についても質問しました。

田園風景を保全する
「土地利用計画」
「開発基本条例」
を！

山本議員

土地利用計画の策定には、「どんな町を目指すのか」、「どのような町づくりをすすめるのか」という基本がなくはない。
また、「美しい村連合」への参加との整合性も必要である。町長はどう考えるか。

勝山町長

「美しい村」に加盟したことを大切に、開発により環境や田園風景が侵されないように、可能な限り努力すべきである。
建物の高さや色彩など景観に関わる部分も条例化する予定である。

山本議員

計画案では、まとまった土地を必要とする開発を受け入れるための候補地としての「産業振興地域」が6カ所所在して指定されている。ここに工場が誘致されると田園風景が維持できなくなるのではないか。

桑沢町づくり推進課長

山本議員

指定箇所は町が買い上げ確保しておくというところではなく、進出企業から話があったとき、紹介できる場所という位置づけである。

ゴミの減量と不法
投棄対策を！

山本議員

先頃視察した高知県上勝町では、「生ごみはすべて堆肥化」していた。町でも生ゴミの自家処理を行う家庭を増やすことが必要。
また、来年の地デジ化に伴い、テレビなどの不法投棄が増える心配があるが、対策は。

片瀬住民課長

現在5.8%の世帯が堆肥化を行っている。リサイクル検討委員会では、生ゴミの減量と地球温暖化の対応策を検討している。答申を受けて取り組みたい。
町外者の不法投棄の事例もあるので、他市町村と連携を強めて協力体制をとっていききたい。

夏季の暑さ対策として
保育園・学校に
エアコン設置を！

山本議員

保育園や学校などには、一部の部屋をのぞきエアコンが設置されていない。計画的な設置が必要。

宮嶋総務課長

保育園・学校とも水分補給など工夫しながら対処している。一気にエアコンを設置することは財政的に難しい。

公共施設に
「磁気ループ」の
設置を！

山本議員

高齢化の進行に伴い、難聴者数が増えている。集団補聴器システム（磁気ループシステム※）は音声記号を磁気に置き換えて、補聴器に伝えるシステムで、騒音の激しいところでも目的の音声だけを聞き取ることができる。池田町でも購入して欲しい。

※ 磁気ループシステム
の模式図



この音声の音が目的の音だけを聞き取る。磁気ループシステムは、補聴器が音を聞き取る。

家族介護支援事業の
充実を！

山本議員

町では、介護施設へ1回6千円を払い、家族介護支援事業を行っているが、1回の参加者が平均3人で効果が上がっていない。
介護をしている家族が、助け合いを通して協力しあう場所が必要。小規模な集まりをいくつか持つような工夫を。

相馬福祉課長

男性介護者にも呼びかけ、認知症に対する理解も深められるように取り組みたい。